

事業番号	09 03 03	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	米粉普及推進事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	農業技術課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 3 信州ブランドの確立とマーケットの創出		E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H21 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	○ 県内製造事業者等に対する技術力向上支援により、県内産米粉の需要拡大と学校給食における米粉製品の利用拡大を図る。	
現状 (予算編成時)	○ 県産米の地産地消の推進や水田の有効活用、米の需給調整に有効な米粉は、独特の食感があり、県民・事業者の関心は高い一方、その用途は限定的で利用量も限られ、米粉用米の取組面積が減少している。 ○ 今後は消費動向に基づく販売と消費需要拡大の取組を実施する必要があり、学校給食等での消費需要の拡大を図る必要がある。また、米穀の新用途利用について、県内製パン事業者及び学校給食関係者に対する情報提供も必要である。	

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 長野県全体における地産地消の推進や、水田の有効活用を図るため、県の関与が必要である。 「長野県食と農業農村振興計画」
	県民との協働による実施: 今後実施予定	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)						
	学校給食における米粉パン延べ実施回数: H26実績(2,389回)とH29目標(2,750回)との差を3年で均等に引き上げ						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29
				(当初)	(決算)	(当初)	
	学校給食等での米粉の利用促進	直接	(1) 製パン業者等を対象とした意見交換会の実施 (2) 米粉パン給食実施促進に向けた、学校給食関係機関との意見交換会の実施 米穀の新用途利用講習会の開催 (県下1会場)	307	145	-	
			合計	307	145	-	

事業コスト	区分 (単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	327	307	-				目標	成果	達成状況	
		補正予算	0			学校給食における米粉パン延べ実施回数	2,389回	2,548回	2,600回	2,196回	未達成	-
		合計(A)	327	307	-							
	Aの財源	一般財源	327	307								
		県債	0									
		国庫支出金	0									
		その他	0									
	決算額(B)	143	145									
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00									
	概算人件費(C)	16,552	15,828									
概算事業費(B(A)+C)	16,879	16,135										

目標に対する成果の状況	米粉パンを導入していた事業者が機械の老朽化を理由に廃業してしまった地域が見られた。また、野菜価格の高騰のため、小麦パンより価格の高い米粉パンを導入できなかった等の理由で実施回数が減少し、目標に対し8割の実績となった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 学校給食における米粉パンの導入が進んだことから本事業は完了し、今後は、既存の「多様なニーズに対応する穀物生産振興事業」や農業再生協議会で実施する研修会を活用しての普及促進や、引き続き、ホームページを活用しての情報発信により、取組を進めていく。
--------------------	--